

かぜ（感冒）・インフルエンザ等の季節性疾患の動向が

とりまとめられました。

今般、健康保険組合連合会において、かぜ（感冒）・インフルエンザ等の季節性疾患の動向について、当健康保険組合を含むデータを提供した健康保険組合の集計を行い、結果をとりまとめられました。

本調査の分析結果は、健康保険組合連合会のホームページ（当健康保険組合のホームページとリンクしています。）に、「かぜ（感冒）・インフルエンザ等季節性疾患（入院外）の動向に関するレポート」として掲載されていますので、ご覧いただきますようお願いいたします。

本レポートは、かぜ（感冒）、インフルエンザ等の季節性疾患における入院外の動向について、加入者皆様への注意喚起の観点から、平成23年度の受診動向と対前年同期比の推移を調査したものです。

なお、調査対象は、かぜ（感冒）、インフルエンザ、アレルギー性鼻炎、ノロウイルスの4疾患とし、1）平成23年度の受診動向については、609組合：13,632,138名、2）対前年同期比については同一の450組合（加入者増減率：0.29%）のレセプト・データを使用しています。

【1】平成23年度の受診動向の対象レセプト

組合数	加入者数
609組合	13,632,138名

【2】対前年同期比の対象レセプト

組合数	H22年度	H23年度	増減率
450組合	10,903,397名	10,935,168名	0.29%

【3】平成23年度の受診者数と割合

疾病分類	H23年度受診者 総数（入院外）	加入者数に 占める割合
J00:急性鼻咽頭炎〔かぜ〕＜感冒＞	519,584名	3.81%
J10:インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	1,018,937名	7.47%
J11:インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの		
J30:血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎＜鼻アレルギー＞	1,794,683名	13.17%
A081:ノーウォーク様ウイルスによる急性胃腸症（ノロウイルス）	2,066名	0.02%